

めまいの診断

医師がめまいの患者のみを診る時は、めまいはもう治まっていることが多い。だから、診断する時は、患者さんのお話が頼りになる。

66歳のK子さん。「昨日から、ひどいめまいがする。頭の血管が詰まったかっ」と、まるでパニックだ。そのめまいは、「グルグル回るのかっ」「フワフワするのかわかんない」「さっさと寝たら治るのかっ」と聞いても。「さっさと寝たら」と繰り返すだけである。こっぴどく聞かせるつもりで自分の体が回るような「回転性めまい」のようである。となれば、耳の病気の「末梢性めまい」なのだろうか？

だが、回転性めまいでも、脳の病気の「中枢性めまい」といってもあまり同じことなれば、めまいがどのような状況で起き、どれくらい続いたかを聞き出さなければならぬ。起き上がりや寝がえりなど、何らかの誘因でめまいが起き、30秒程度の短いものなら末梢性めまいだ。もしも、めまいが数分以上、何時間も続くようなら脳の病気が疑われる。だが、K子さんの返答は不確かである。

もちろん、なんらかの脳の症状でもあれば診断は容易だ。でも、患者さんご自身の

は、誘導尋問に弱く、こたえがでない。K子さんも、「さっさと寝たら治るのかっ」と聞いても、「さっさと寝たら治るのかっ」と繰り返すだけである。こっぴどく聞かせるつもりで自分の体が回るような「回転性めまい」のようである。となれば、耳の病気の「末梢性めまい」といってもあまり同じことなれば、めまいがどのような状況で起き、どれくらい続いたかを聞き出さなければならぬ。起き上がりや寝がえりなど、何らかの誘因でめまいが起き、30秒程度の短いものなら末梢性めまいだ。もしも、めまいが数分以上、何時間も続くようなら脳の病気が疑われる。だが、K子さんの返答は不確かである。

めまいの診断は難しい。多くのめまいは、末梢性めまいとして治療されている。が、実は、重大な脳の病気が隠れているかもしれないのだ。めまいがしたら、その症状と経過を冷静に把握して、メモなどしておくことを勧める。ワッシャーのようなヤブ医者でも診断力が格段に上がる。

(石黒修三) いへろクリニック・脳神経外科医
12/12 北國新聞掲載